

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 18 年 2 月 23 日 (2006.2.23)

【公表番号】特表 2002-510155(P2002-510155A)
【公表日】平成 14 年 4 月 2 日 (2002.4.2)
【出願番号】特願 2000-540619(P2000-540619)
【国際特許分類】

H 0 3 K 5/13 (2006.01)

H 0 3 H 11/26 (2006.01)

【F I】

H 0 3 K 5/13

H 0 3 H 11/26 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 12 月 28 日 (2005.12.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 第 1 のバイアス用トランジスタに接続された差動型素子対に接続された自己バイアス負荷を有して差動出力を供給する能動側と、
非能動側と、

能動側と非能動側との間に接続されていて、各側を通して吸引される電流量を差動制御入力に応答して分流させる電流分流回路と、
を具備したことを特徴とする装置。

【請求項 2】 各々自己バイアス負荷を有する遅延セルの能動側及び非能動側を設けるステップと、

差動制御信号に応答して能動側及び非能動側の一方に流すよう電流を分流させるステップと、

を具備したことを特徴とする方法。

【請求項 3】 シリアルバスと、

シリアルバスに接続され第 1 のクロックドメインで動作する第 1 のノード及びやはりシリアルバスに接続された第 2 のノードと、

第 1 のノード内に設けられていて第 1 のクロックドメインを第 2 のクロックドメインと同期させるためのクロック再生回路 (C R C) であって、能動側、非能動側及び電流分流回路を有する可変遅延セルよりなり、電流分流回路が能動側と非能動側との間に接続されていて各側を通して吸引される電流量を差動制御入力に応答して分流させる C R C と、

を具備したことを特徴とするシステム。